

とちぎYMCA

みつかる。つながる。よくなっていく。

- NO.412 2026
- JUNE

YMCA News

6



2026年6月1日発行
公益財団法人とちぎYMCA
〒321-0904
宇都宮市陽東4-18-30
TEL:028-624-2546
FAX:028-624-2489
<https://www.tochigiymca.org>
発行人/塩澤 達俊
編集人/公益財団法人とちぎYMCA



ぼくは幼稚園生の時から、YMCAでたくさんの活動に参加してきました。ふだんできない体験や初めての経験がたくさんできました。

とちぎY野外クラブでは、一年間をリーダーや同じ仲間と活動することによって回数を重ねるごとにお互いの良いところを見つけて、きずなを深めることができました。

それを感じたのが山登りキャンプです。初めて登った時は、頂上へは行けませんでした。二回目では仲間やリーダーと声をかけ合って、頂上までたどりつくことができました。頂上からの景色は、とてもきれいで、疲れが一瞬で吹き飛びました。その景色は、今でもはっきり覚えています。シーズンプログラムでは、たくさんの経験をリーダーや仲間とできました。

キャンプ、あゆつかみ、ハイキング、川遊び、スキーなど思い出はいっぱいあります。その中でも強く印象に残っている活動は、キャンプとあゆつかみです。

山のキャンプで体験した川遊びでは、川の水がすごく冷たくて、太陽の光で水面がキラキラして、とてもキレイでした。夜の空には星がつかめそうなくらいにいっぱい光っていて感動しました。

湖のキャンプではリーダーや仲間と全力で水遊びをして湖畔で

ハンバーガーを食べた事がとても楽しくて忘れられません。そしてナイトハイクでは夜の湖に星がうつってキラキラして神秘的でした。

それからいつも楽しみにしているのが、キャンプファイヤーです。火を囲んでみんなで歌うと、より仲が深まる気持ちになります。キャンプは何回も行きましたが、身の回りのことは自分でしないといけないので、行くと毎に家族のありがたさを感じました。

あゆつかみでは、初めて生きているアユと対面しました。生きているアユはヌルスルしていて、すばしっこいのてつかまえるのが困難でしたが、つかまえられる時はうれしかったです。みんなで食べたアユは最高においしかったです。

YMCAの活動を通して、仲間と一緒に考えて問題を解決する力や楽しさをたくさん知る事ができました。仲間はとても大切な存在です。

そして、毎回YMCAの活動で一番楽しみにしているのはリーダーに会えることです。いつも全力で遊んでくれたり、楽しいことをたくさん考えてきてくれて感謝の気持ちでいっぱいです。

将来、ぼくもリーダーになって楽しさをたくさん伝えていきたいです。

とちぎYMCAメンバー 森 駿介

とちぎYMCAの使命

～みつかる。つながる。よくなっていく。～

2026年度 とちぎYMCA年間聖句

「平和をつくる人は幸いである」

新約聖書 マタイによる福音書 第5章25節9節
《山上の重訓 幸いの言葉》より



さくらんぼ 幼稚園

野外保育



今年度初めての野外保育は年少、年中、年長組で宇都宮美術館へ出かけました。園バスに乗り込む子どもたちは、期待いっぱいの満面の笑顔。公園に到着すると、心地よい風を感じながら散歩を楽しみました。年少児と年中児は仲良く手を繋いで公園の周りを歩き、年長児は探検気分を味わいながら森の中を歩きました。

広場では、青空の下で歓声を上げて駆け回る子どもたちの姿が、キラキラと輝いていました。学年を超えて、カラフルな帽子が集まり、一緒に花を摘んだり、夢中で虫探しをしたりする姿がとても微笑ましかったです。

お天気に恵まれた3日間の野外保育。新緑の季節を存分に味わうことができました。



デイホーム きよはら

バラ園へ

先日、利用者の皆様と一緒にバラ園へ出かけました。色とりどりの美しいバラが見頃を迎え、園内には華やかな香りが広がっていました。「きれいだね」「いい香りだね」と自然と会話弾み、皆様の笑顔があふれていました。写真を撮ったり、ゆっくりと散策したりしながら、季節の花々を満喫しました。普段とは違う景色の中で心も晴れやかになり、楽しいひとときを過ごすことができました。

今後も、利用者様に季節を感じていただける外出行事を企画し、笑顔あふれる時間を過ごしていただきたいと思います。



まちぴあ

職員研修 まちぴあゼミ

4月に、まちぴあ常勤職員の研修「まちぴあゼミ」を開催しました。

本研修は、まちぴあを利用するNPO団体について理解を深め、より質の高い業務の実現を目指し、毎月実施しているものです。今月のテーマは「支援」。「支援」や「ボランティア」という言葉について、職員自身が改めて定義し直すところから始まりました。これらの言葉は耳ざわりがよく頻繁に使われる一方で、表面的に用いてしまうと、言葉だけが一人歩きし、実質的な効果を伴わないものになりかねません。今回の研修において、「支援」には多様な意味があることを再確認しました。なぜ支援を行うのか、どのように支援するのか、そしてそのゴールはどこにあるのか。こうした点について、場面ごとに異なる意味を丁寧に考える必要があることを改めて実感しました。

本研修で得た学びを生かし、今後もまちぴあに来館される皆様に対し、より柔軟で丁寧な対応ができるよう努めてまいります。



ようとう 保育園

食育委員会より 「食育パンフレット」 完成しました！

およそ2年間かけて、定期的に食育委員会を開催し「食育計画」の見直し、「ようとう保育園の食育」を分析、話し合いをすすめてきました。ついに集大成となるパンフレットが完成しましたのでご報告です。パンフレットを開くと【毎日の小さな関わりを大切に】……食べることは生きること。元気に過ごす子どもの姿こそ「食育」です。というメッセージが書かれています。食事に関わることを軸に、個々の発達に寄り添い、裸足で土や砂、水で心行くまであそぶ時間を重んじ、心身の健康を第一に、日常を大切にする保育方針を、より理解していただける内容がコンパクトに掲載されています。新年度より配布がはじまり、在園児の皆さま、園見学の方、実習生等に広く活用していきます。

併せてホームページにも掲載がありますので、ぜひご覧ください。



西が岡小子どもの家

どろんこ広場に4月から25名の1年生が入りました。入学してから2カ月が経ち、最初は「ママがいいー」と泣いていた子達も遊べるようになりました。室内遊びでは手作りのクッションドッジボール、布なわとび、お絵かき、写し絵などで遊んでいます。

今年の1年生は、「私は折り紙名人、職人になる」「マンガが上手だからマンガ家なの」等々、自分自身に対するポジティブな評価の子が多いです。外遊びではサッカー、鉄棒、うんてい、なわとびなど。おまごとしてはジョウロ、バケツ、コップを使って草、泥、花を集めて「お店屋さんだよ」とごっこ遊びをしています。それぞれに遊びたい遊びをして元気いっぱい走り回っています。小さいケンカはありますが、その都度お互いから話を聞き、話し合いをしています。色々な経験を通して成長していく姿を見守り、「どろんこ広場って楽しかったな」と思い出として心に残してもらえたら嬉しいです。子どもたち一人一人と楽しく安心して過ごせる居場所作りを作っていきたいと思います。

主任支援員 麻生久子



宇都宮市青少年活動センター トライ東

「ZUMBA&ほぐしストレッチ講座を開催！」

内 容：ズンバとは、ラテン系の音楽を中心に世界の様々な音楽とダンスを融合させたダンスフィットネスプログラムです。ズンバの最大の特徴は「音楽に合わせて動くだけで楽しい！」という点です。難しい振り付けはなく、講師の真似をして身体を動かしていけば、有酸素運動として高い脂肪燃焼効果とストレス解消が期待できます。講師はトライ東で大人気の影山靖代先生です！ぜひご参加ください！レッツダンス☆

日 時：6月7日・14日・7月5日・12日／全4回（日）13：00-14：30

対 象：市内在住または市内に在勤在学で高校生以上の方

参加費：1,500円（全4回分）

講 師：影山 靖代 先生

場 所：宇都宮市青少年活動センタートライ東

持ち物：ヨガマット（貸出あり）、室内シューズ、タオル、飲み物

その他：運動できる服装でご参加ください

宇都宮市青少年活動センター
トライ東ヤングセミナー

ZUMBA&ほぐしストレッチ

先生のマネをして
動くだけ！
運動経験がなくても
思い切り楽しめます♪

お申込みはこちらから👉

地域と共創・協働

トライ東&まちぴあ 協働主催事業のご案内

公益財団法人とちぎYMCAが指定管理制度に基づいて、宇都宮市から委託されている宇都宮市青少年活動センタートライ東と、宇都宮市まちづくりセンターではそれぞれの役割を活かし、地域や他団体と連携・協働しながら、プログラムを実施しています。

特に6月は「多文化防災まちあるき」「学校の外の文化祭」を開催します。

詳細は以下の通りです。

多文化防災まちあるき

本プログラムは「見る・感じる・考える」をテーマに、海外ルーツの方、高齢者、障がいのある方など、誰もが安心して共に暮らせるためについて、机上訓練と清原地区をモデルとしたフィールドワークを組み合わせる学び研修です。

言葉の壁がある住民や車いすユーザー、認知症高齢者世帯など、「いつ・どこで・どのように」避難をしていけばよいのか、様々な文化背景を持つ被災者や支援者の立場に立って「まち」を点検し、認識と現実を照らし合わせていきます。

昼食にはキッチンカーやおでん屋台も楽しめます。災害時に助け合える街づくりを一緒に考えませんか？

皆さまの参加をお待ちしています！

日時	6月13日(土) 10:00~15:00 ※雨天決行
集合・解散	飛山城跡駅(ライトライン)
費用	500円(保険料・昼食費として)
服装	動きやすい服・履きなれた靴でお越しください。
持ち物	筆記用具・メモ帳・水筒・参加費
昼食	とちぎYMCAでおでんを準備します。
定員	40名

学校の外の文化祭

学校に行かない子どもたちにも、文化祭のような楽しい一日を提供したい。そんな思いではじまった取り組みです。普段、フリースクールなどの居場所で、子どもたちと関わる方はもちろん、地域の方々も含めた、あたたかなメンバーで企画・運営しています。

キーワードは、「安心」と「自由」。子どもも大人もほっとできる一日にします。

日時	6月21日(日) 11:00~15:00
場所	宇都宮市青少年活動センター
参加費	無料 ※飲食等一部有料ブースがあります。



塩澤総主事の、

VOL.



なにそれなにそれ
#cctv #1984
#Diamond Dogs
#天網恢恢疎にして漏らさず

先

日、ロンドンから北イングランドのマンチェスター湖水地方をレンタカーで旅しました。印象に残ったのは「CCTV=監視カメラ」の多さです。いたるところに「監視中」の表示があり、警察だけではなく地方自治体、セキュリティ会社など様々なCCTVがあるようでした。

2025年世界都市別監視カメラランキングでは、上位を中国都市が占め、ロンドンはそれに次ぐ6位(以下9位まで再び中国都市)、民主主義国家の中では際立った「監視社会」と言えるようです。

実際、その効果は驚くほどで、高速道路ではみんなが不自然なほど制限速度を守っていました。私が路上駐車場で1時間分の前払いをして20分ほど超過して車に戻ると、非情にも罰金通知が貼られており、その場でクレジットカード決済をし、放免されました。更に別の駐車場でも許可証の掲示忘れで警告を貼られましたが、許可番号を電話入力して警告解除となりました。どちらの場合も周囲に巡回監視員の姿はなかったのですが、その「違反」は確実にどこかで、誰かに見られていたのです。

このとき思い出したのが、監視社会をデストピア的に描いた小説『1984』(G.オーウェル)と、その世界観をモチーフにしたデビットボウイのアルバム『Diamond Dogs』です。

こうした監視システムが、イギリスで公共空間の秩序や安心感、治安の良さを支えていることに間違いはないでしょうし、大いに意味のあることだと思います。

中国ではこのCCTVを「天網」と呼ぶそうで、「天網恢恢疎にして漏らさず」一天は悪事を見逃さないという意味を持つ老子の言葉が由来だそうです。

(駐車違反をしてこんなことを言うのも何ですが)CCTVが「天」や「神」の目に代わるはずもなく、外からの監視や罰だけで社会の秩序を保つのではなく、誰も見ていない場面でも自らを律しようとする内なる倫理に従って行動することこそ大切なのではないか、そんなことを考えさせられた車旅でした。



Thank
you!

2025年度維持会員感謝

2025年度のとちぎYMCAもみなさまのおかげをもちまして、無事に活動を終えることができました。みなさまの激励や叱咤、ご助言、お祈りなどに加えてYMCA維持会費やご寄付など、物心ともなるお支えをいただきまして日々の活動ができましたことに、心より御礼を申し上げます。

みなさまからのお支えは、全人的な育成と必要とされるチャレンジで時代を拓くYMCAの新しい活動に大切に活用させていただきます。ご支援をいただいておりますみなさまがたには、これからもYMCAとご一緒いただけますようお願いを申し上げますとともに、あらためまして心より感謝を申し上げます。

(敬称略・順不同)

日下航介、松本法判、福田能文、藤田哲夫、金田敏雄、久保孝弘、中川哲夫、大浦智子、藤生容子、井口美代子、佐藤防災サービス(株)、福本光夫、並木信一、江口健司、伊澤良則、(有)高橋平版社、伊藤貴子、横嶋依里子、山口俊一、大久保知宏、大橋敏雄、谷津行男、十河弘(故人)、本多啓夫、阿久津哲夫、増山公認会計士事務所、増山雄貴、中村俊幸、岩村建設(株)、高村博、丸山孝、吉田玄、阿久津ユリ子、上野順一郎、上野すみ子、正木敬子、田巻秀樹、矢部万紗人、佐藤隆久、種ヶ島和洋、田上中、村山直樹、鷹箸孝、大山真貴子、福田隆男、山崎敦子、里村美奈、齋藤仁、増山律子、布川武男、福本知恵子、橋本寿夫、鈴木翔太、川上聖子、大島清子、長谷範子、渡部静子、櫻井英治、富士フィルムビジネスソリューションズジャパン(株)、平田和子、鈴木伊知郎、岡田孝司、金澤林子、石飛雅代、田村修也、村田榮、原田明子、鈴木保江、藤生強、羽山弘一、中澤堅次、石川雅之

YMCAをYMCAらしくするために

— 皆さまのお支えをお願いいたします —

いつもYMCAの活動をお支えいただき、ありがとうございます。

現在、とちぎYMCAでは、キャンプや英会話、体育活動などの公益活動に加え、保育園(ようとう保育園)・認定こども園(さくらんぼ幼稚園)、放課後児童クラブ(子どもの家)、青少年活動センター「トライ東」、市民活動センター「まちびあ」、特別養護老人ホーム「マイホームきよはら」、親と子どもの居場所(めいめい)、子どもの居場所(アットホームきよはら)など、地域に根ざしたさまざまな働きを担っています。これらの事業の多くは、委託費・補助金・給付費など、公的な財源によって支えられています。

一方で、YMCAが大切にしている「人を育てる活動」には、公的な制度だけでは賄えない部分があります。たとえば、高校生や大学生、地域の大人たちによるボランティア活動やボランティア・リーダーの育成。子ども食堂や居場所づくりなど、地域の声に応えながら自主的に続けている活動。そして、世代を超えたつながりや、一人ひとりの成長を支える“YMCAらしい関わり”です。

こうした活動は、制度や補助だけでは成り立たず、皆さまからの維持会費やご寄付によって支えられています。ご寄付は、単なる運営資金ではなく、「YMCAをYMCAらしくするための力」となっています。

これからも、子どもたちや若者、地域の方々とともに歩み続けるために、どうぞお力添えをお願いいたします。皆さまから託された思いを大切に受けとめ、これからの地域と未来のために用いてまいります。

今後とも、あたたかなお支えをよろしくお願い申し上げます。



【新規申込み方法】

- ☐ お電話 (028-624-2546) 資料をお送りいたします。
- ☐ ホームページより (QR コード)
- ☐ 各YMCA 事務所に

【継続申し込み】

維持会員費をお支払いください。

- ☐ ホームページより (QR コード)
- ☐ 各YMCA 事務所に

